

秋の夕暮れは「魔の時間帯」

日没前後の約1時間は、交通事故死、夏の3倍

ライト点灯喚起

暗くなってもライトを点灯させないドライバーが多く、

歩行者に気づかないことが一因

2019.10.11 07:06

日没の時刻が日増しに早くなり、夕方に交通事故が多発する季節を迎えている。

秋の日没前後の約1時間は、夏に比べて交通事故の死者数が約3倍に増加する「魔の時間帯」と呼ばれる。

県警は、薄暗いと感じたらすぐに車両のライトを点灯させるよう呼びかけている。

交通総務課の担当者は「暗くなってもライトを点灯させないドライバーが多く、歩行者に気づかないことが一因」と分析する。

歩行者側の「防衛策」も重要だ。県警は、薄暗い時間帯の外出の際は、反射材を用いた服などを着用するよう注意を促している。

薄暗くなる時間帯…

夕方5時 92歳女性が横断中にはねられ死亡

車を運転の会社員逮捕

◇夜間…ヘッドライトはハイビームが基本、早期発見！ 事故防止◇

◇デイ・ライトで知らせよう…自分の車の存在 事故防止◇

2019/10/11(金) 7:00

10日午後5時40分頃、愛知県の信号のない交差点で車を運転し、道路を渡っていた女性（92）をはねて死亡させた男性（43）が逮捕されました。女性は、近くの畑から家に帰る途中だったと見られています。警察は容疑者が前方をよく見ていなかった可能性があるとして、調べています。